

# 国立環境研究所における 今年度の取組

清水 厚

shimizua@nies.go.jp

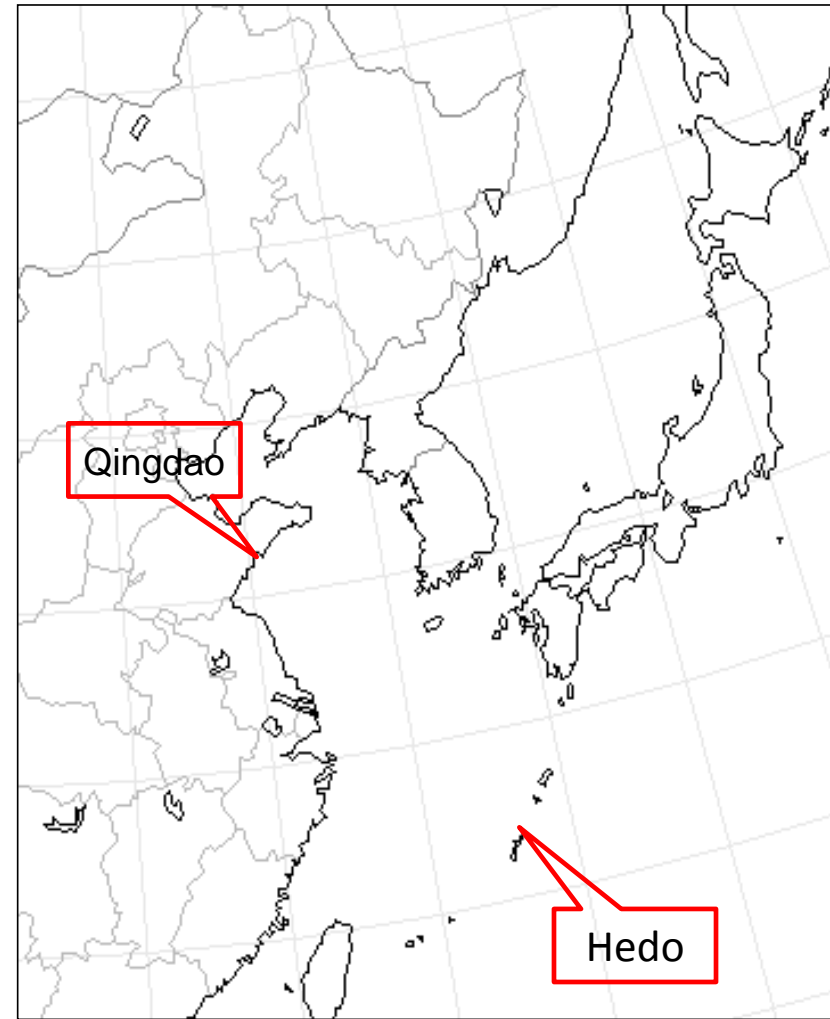
独立行政法人 国立環境研究所  
地域環境研究センター 広域大気環境研究室  
主任研究員

# TPM(大気汚染分野)の今年の活動予定

- ・第11回日韓中三カ国環境研究機関長会合(TPM11)を国立環境研究所(NIES)主催で川崎において開催予定(2014年11月)。
- ・**アジア大気汚染**など9つの重点研究分野を設定。
- ・アジア大気汚染分野:
  - 特にPM<sub>2.5</sub>に関して日中韓の観測など取り組みについて紹介する予定。
- ・[関連分野]黄砂分野:
  - 黄砂粒子と人為汚染との混合を念頭に置き黄砂イベント時に粒径分布を高時間分解能で取得するなど共同研究を行っている。

# 今年度の日中同時観測キャンペーン

- JST (科学技術振興機構)  
— MOST (中国科学技術部)  
戦略的国際科学技術協力  
推進事業
- CRAES、東京農工大、国  
環研の共同研究
- 沖縄辺戸岬、中国青島に  
おいてEC, OCの同期観測  
を実施する
- 2014年4月に観測。  
次回は2014年10月予定



# 越境汚染観測等に関する日本の自治体研究機関との連携

- 福岡、熊本などで実施している越境汚染観測と健康影響研究（「PM<sub>2.5</sub>成分および黄砂が循環器・呼吸器疾患に及ぼす短期曝露影響に関する研究」代表 国環研 高見、FT2014-2016）内容：粒子の質量濃度や化学組成データと、循環器疾患発症や救急搬送データをリンクさせ、微小粒子や黄砂（粗大粒子）が及ぼす短期曝露に関する健康影響を明らかにする。）
- ライダーネットワーク（粒子の高度分布を観測、国内11観測地点のうち富山・島根・長崎では県環境研究所の協力のもとライダーを運用、担当者と毎年ワークショップを開き観測結果の検討を行っている）
- 国環研と地環研のⅡ型共同研究「PM<sub>2.5</sub>の短期的/長期的環境基準超過をもたらす汚染機構の解明」：PM<sub>2.5</sub>高濃度時の研究用サンプリング等を実施

# その他

- 上海環境科学院において「Workshop on PM<sub>2.5</sub> strategy for megacity」に参加し、日中の大都市におけるPM<sub>2.5</sub>問題に関する情報共有と今後の共同研究に関して協議(2014年5月)